

第38回地方公務員共済組合連合会資金運用委員会議事要旨

1. 日 時：令和3年11月22日（月） 11:00～12:00
2. 場 所：地方公務員共済組合連合会 特別会議室
3. 出席委員：
 - ・若杉座長 ・川北委員（※） ・喜多委員 ・佐藤委員 ・高山委員
 - ・竹原委員（※） ・徳島委員（※はオンライン会議システムを利用した出席）
4. 議 事
 - （1）FTSE世界国債インデックスにおける中国国債組入れに関する対応について
 - （2）厚生年金保険給付調整積立金に関する基本方針の変更について
 - （3）経過的長期給付調整積立金に関する基本方針の変更について
 - （4）外国債券アクティブプロダクトの選定状況等について
 - （5）外国株式アクティブプロダクトの選定開始について
 - （6）令和3年度第2四半期の各積立金の運用状況（地共連）
 - （7）令和3年度第1四半期の各積立金のリスク管理の状況（地共連）
 - （8）令和3年度（4月～9月）の資産配分の状況

〈議事の概要〉

- ・事務局から上記議題について資料の説明が行われた。
- ・その後、意見交換が行われた。

（5）外国株式アクティブプロダクトの選定開始について

- ESG投資が社会に影響を与えていくことには時間がかかると思われるので、通常のアクティブ運用と評価期間を少し長くする等、通常のアクティブ運用とは違った管理をする方がよいと考えられる。
- ESG投資の中でも、Eに特化するのか、Sに特化するのか、Gに特化するのかという話もあり、例えば日本企業で環境技術とか環境特許を持っているようなところに、集中投資して支援していくようなプロダクトを選定してよいと思う。ただし、そうしたプロダクトはベンチャーとは大きく異なる性質となるので、評価方法について再検討をされた方がよい。

- ESG要素がリターンやリスクに与えた影響をどう評価するのかを定めておかないと、選定時や採用後に評価を行う際に、本当にESGの効果があったのか、もしくは、たまたま業績がよくてリターンが上がったのかの区別がつけにくい。

以上